

## 職員による自己評価

## A環境面

- 利用定員に対する【活動スペース】、【職員の配置】は適切との意見が多かった。
- バリアフリー化は適切ではないとの意見があった。

## B児童への支援内容

- 業務改善、適切な支援の提供に関してのチェック項目に関し、意見が分かれる傾向が多かった。

## C関係機関との連携

- 関係機関、保護者との連携について、チェック項目に関しほぼ意見が分かれていた。その中、【保護者と課題について共通理解が持っている】という項目については、ほぼ「持っている」と意見であった。

## D保護者への説明責任・信頼関係

- 運営に関する事、指導員の体制、保護者との信頼などの箇所については、「適切な説明ができています」、「対応ができています」等との意見が多かった。
- 父母会の活動に関しては意見が分かれていた。

## E非常対応

- ひやりはっと、虐待防止に関する研修機会、取り組みに関しては事業所内で共有ができていたとの意見があったが、その他については、ほぼ意見が分かれていた。

## 保護者による評価

## A環境面

- 【活動スペース】、【職員の配置】に関してはほぼ 10 割の保護者から十分なスペースがとれ、適切な配置があると評価をいただく。
- バリアフリー化に関しては、「はい」、「いいえ」、「どちらともいえない」との意見が割れていた。

## B児童への支援内容

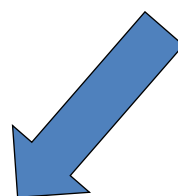
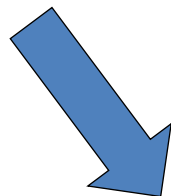
- ほぼ 10 割の保護者より、個別支援計画の作成がされ、活動プログラムに関しても工夫があるとの評価をいただく。
- 障害のない子どもと活動する機会に関しては、ほぼ「どちらともいえない」、「いいえ」の意見であった。

## C事業所からの情報発信

- 支援内容、利用者負担等については丁寧な説明があると、ほぼ 10 割の方々から評価をいただく。
- 苦情についての対応の整備と、迅速かつ適切な対応については、「どちらともいえない」との意見を多くいただく。

## D非常対応

- 非常時等の対応については、【マニュアルの策定・周知・説明】と、【避難訓練の実施】に関しては、「はい」、「いいえ」、「どちらともいえない」との意見が分かれていた。



## 事業所内での分析

### 【共通点】

- 訓練室等は適切スペースが確保でき、指導員の人員も適切である。
- バリアフリー化ではない。
- 支援内容に関しては、保護者との情報、課題共有ができています。
- 非常対応のマニュアル作成、説明等に関し、意見が分かっていた。
- 父母会の活動等の保護者支援については意見が分かっていた。

### 【相違点】

- 活動プログラムの工夫に関し、職員は意見が分かれている状態であったが、保護者からは「固定化されていない」、「工夫がされている」の意見であった。
- 苦情があった場合の対応、対応の整備について、職員からは「できている」との意見が多かったが、保護者からは「どちらともいえない」との意見が多かった。

## 分析・検討してみたて…

### 事業所の強み

- 環境面、体制面では十分に確保できており、支援がしやすい状況となっている。
- 個別支援計画が丁寧に行え、児童の情報、課題共有ができています。その為、特性、成長段階に応じた支援方針ができる。

### 事業所の改善点

- 保護者から評価表、職員の評価表ともに、多くのチェック項目の意見が分かかれ、各々の保護者、職員の認識の相違がある事が窺える。その事から、実施はしている事柄でも周知ができていない状況が分析できる。その為、保護者への発信方法に改善点がある。また、職員に対しては、事業所が開設し1年未満という事もあり、事業内容、事業の方針の理解度の差があると分析できる為、指導員の育成が改善点である。

## 事業所の改善への取り組み

- 定期的に保護者向け【広報誌の作成】、【HP などからの発信】を実施と改善を目指す。(実施した活動、事業所の取り組み内容、会社の取り組み内容、非常時のマニュアル等)
- 事業、支援に関する職員の向け内部研修企画と、外部研修の積極的な参加を目指す。

事業所名 放課後等デイサービス en 和田町

担当者 中原 裕介